小須戸公民館報

発行所 小須戸町公民館
発行人 中央公民館 成田常信
発行日 毎月15日
印刷所 (有)昭栄堂印刷所

障害者に明るい明日を

～小須戸町 手をつなぐ親の会４周年～

十月二十七日。中央公民館で福祉大会が開催されました。その中での事例発表を紹介すると共に、今、私達が無関心でいられない、障害者の明日を取り上げてみます。私達一人ひとりが考えて行かなければならない課題がここにあります。

私達、手をつなぐ親の会は発足以来四年間経過しました。この間町民各位から大変なる援助を頂きました。私達親子にとって励みと共に未来が見い出せる様な気が致しております。

障害児を持っている親、普通の子の親、どちらにも言えることですが子供達に信頼される親になって頂きたいと思うのです。先日、機会があって新津市の小学五年生の作文を読ませて頂きました。その中で心に残った事を紹介しましょう。

◆　◆

今日は亀田のおばあちゃんを我が家に招待する日だ。さっそく車でおばあちゃんを迎えに行く。お父さんはおばあちゃんを大切そうに抱いて「ばあちゃん大丈夫け」と言いながら車に乗せていた。家に来てからお父さんがパンツ一枚になっておばあちゃんを抱き、ソーと風呂の湯に入れてやる。そしてお父さんが「ばあちゃん、あっちょねいけ。」と聞くとおばあちゃんは首を横に振って「イーヤ」と言う。その後おばあちゃんに石鹸をつけてこすってやる。「ばあちゃんは首を横に振って「イーヤ」いとねえけ」と聞くとおばあちゃんは首を横に振って「イーヤ」と言う。お父さんの背中から、汗が流れている。またお父さんが「ばあちゃんいとねえけ」と聞くと首を横に振って「イーヤ」と言う。おばあちゃんは半身不随なのである。洗い終ると、お父さんが抱いてソ～と湯に入れる。お父さんが「ばあちゃんあっちょねいけ」と聞くと、まるで「イーヤ、極楽極楽。ナンマンダブナンマンダブ」と言っていた。湯から上がると、お母さんが体を拭き着物を着せていた。

いつもあんなに厳しいお父さんが、あんなに優しいとは……私も大人になったらお父さんお母さんのように優しく、お父さんを見てやれる人間になりたいです。

◆　◆

これが五年生の作文です。この様に言葉に出さなくとも、体で子供に教えている姿、昔から「子は親の姿を見て育つ」と言いますが、まさしくそのとおりだと思います。そしてこの言葉も障害者でも出来る仕事をさせ、親も安心して送り出せるように、子供達も喜んで近くに仕事の出来る。その為に少しでも資金を残して行きたい。先月公民館で行なわれた農業祭の時にも、先生方、親同士が何日も集って一生懸命に手作りした物を販売しました。

そんな願いから、この子供達に少しでも先の見える明るさを与えてやりたいのです。

この先何年、いや何十年、お世話になると思いますが、私達手をつなぐ親の会一同、力を合わせて今後共頑張りたいと思います。

町民各位のご支援、ご理解をよろしくお願いいたします。

手をつなぐ親の会
親子遠足（於 三条市）

手づくり品の販売

ちょこっと一言 (20)

さわし柿

先日、公会堂で寄り合いがあり、その時に、さわし柿を頂いて食べた。寺社柿と八珍柿があり、さっぱりとして、なかなかおいしいものである。

その時の話の中で、寺社柿の木が多く植えられ、産地化されている地域は、全国でも新保地区、つまり、ここだけと聞いて驚いた。木を切るのは簡単だが育てるのは、長い年月を必要とする。先祖が、大切に育ててこられたこの寺社柿も、滅びることのないように祈りたい。

新しいものを作るのも大切だが、昔からある古いものも大切にし、発展させていくことが、ふるさと創生の原点であるように思う。

新保二
簑和松一 さん

おめでとう
小須戸剣道クラブ
文部省優良団体表彰

去る十月六日(金)、東京都千代田区東條会館ホールにおいて、小須戸剣道クラブが文部省社会体育優良団体として表彰をうけました。この社会体育優良団体表彰は、地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地方体育の振興に顕著な成果をあげた社会体育団体を表彰するものです。永年にわたり、青少年健全育成を基盤として、地道に活動を行なってきたことが今回の表彰につながりました。

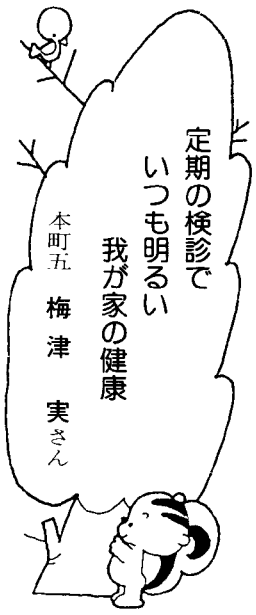
今後とも、この表彰を大きな糧として、より一層のクラブ活動の充実が図られることを期待いたします。

小須戸婦人会より御礼

11月３日、好天気に恵まれた文化祭に行事の一つとして参加させていただいた**不用品バザール**も好評のうちに無事終る事が出来ました。忙しい中を、会のために各家庭を回り集めて下さった役員の人達、そして心良く色々な品物を出品して下さった町民の皆様方本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

尚、**売上げの一部を赤い羽根の共同募金に寄贈させていただく事にしました。**皆様方の御期待に添える会になりたいと思いますので今後もよろしく御協力下さいます様御願い申し上げます。　会長　高橋和子

今月の健康づくり標語



定期の検診で
いつも明るい
我が家の健康

本町五　梅津　実さん

第三十四回 小須戸町剣道大会
県下柔道大会
過去最高の二千百名が参加

十一月三日、小須戸町民体育館（剣道）小須戸小体育館（柔道）で第三十四回小須戸町柔剣道大会が開催され、県下より過去最高の二千百名が参加しました。

当日は絶好の秋晴れ。気温も比較的温かく過ごしやすい一日となりました。剣道百七十九チーム、柔道八十七チームが熱戦を繰り広げました。

小須戸からでは剣道家庭婦人の部で二位、中学男女共に準優勝柔道は小学生高・低学年で共に三位入賞を果たしました。

全体の結果は次のとおりです。

剣道大会結果

〈一般男子の部〉
優勝　新潟高等学校
二位　東京学館新潟高校
三位　加茂暁星高校
〃　栃尾高等学校
〈家庭婦人の部〉
優勝　五泉市剣道連盟
二位　小須戸町柔剣道振興会
三位　五泉市スポーツクラブ
〃　山ノ下地区剣道教室
〈中学男子の部〉
優勝　白根第一中学校
二位　小須戸中学校
三位　両川中学校（新潟市）
〃　成思館（新潟市）
〈中学女子の部〉
優勝　成思館（新潟市）
二位　小須戸中学校
三位　山ノ下中学校（新潟市）
〃　松浜中学校（新潟市）
〈小学生の部〉
優勝　心武館（新潟市）
二位　光明館武道場（三条市）
三位　立志館（三条市）
〃　両川剣道クラブ（新潟市）

柔道大会結果

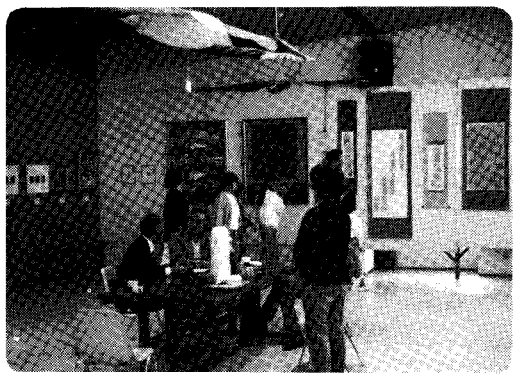
〈一般の部〉
優勝　白根柔道会
二位　高志倶楽部（新潟市）
三位　巻柔友会
〈高校男子の部〉
優勝　白根高校Ａ
二位　文理高校Ａ
三位　新潟工業Ａ
〃　白根高校
〈中学男子の部〉
優勝　白根第一中学校Ａ
二位　村松柔道スポーツ少年団
三位　豊栄市柔道連盟
〃　秋葉中学校（栃尾市）
〈小学生高学年の部〉
優勝　白根柔道教室
二位　新発田市柔道スポ少
三位　長岡柔道教室Ｂ
〃　小須戸町柔道スポ少Ａ
〈小学生低学年の部〉
優勝　白根柔道教室
二位　新発田市柔道スポ少
三位　分田柔道クラブＡ（水原町）
〃　小須戸町柔道スポ少Ａ

文化祭・町民展盛況

ありがとうございました。

第十五回を迎えた中央公民館・文化協会主催の文化祭・町民展が十一月五日に三日間の日程を終了しました。三日間の延べ入場者数も千五百名を超え、非常に盛況でした。

今年は幸いに天気に恵まれ、暖かい日が続いたとあって連日入場者が途切れる事なくご来場頂き、本当にありがとうございました。



回を重ねるごとに町民の皆さんの感心が高まるようで、町民展をはじめ、町民俳句大会、こすどっ子写真展には今までに最高の作品点数を寄せて頂きました。厚く御礼申し上げます。

今年も新しい企画を取り入れ文化祭を盛り上げるイベントとして「こすど町ラジコングランプリ」を開催しました。三日当日は多勢の見物人の拍手と、参加者のファイトで大変良いイベントになったと思います。終了した時点で「ぜひ来年も」という意見が大人、子供に関わらず出された事で連日の準備に追われていた役員諸氏の苦労も報われようというもの。

三日間の日程を終了し、町民の皆さんが、〝文化〟に少しでも触れて頂き、そして関心を持ってくれるならば、町民展・文化祭の意義も大きかったと思います。

さらなる向上と発展を目指し今後とも町民皆さんと共に頑張りたいと思います。

ご支援、ご協力ありがとうございました。

第十一回町民バドミントン大会

高野豊さん四連覇ならず!!

十月十五日、町民体育館で第十一回町民バドミントン大会が催され、シングルスでは長谷川民雄さんが高野豊さんの四連覇を阻止した。

〈シングルス・Aクラス〉
優勝 長谷川民雄（新潟市）
二位 高野 豊（蔵町三）
三位 入倉 芳男（本町五）
〃 苅部 和義（新潟市）

〈Bクラス〉
優勝 中野 節子（横川浜）
二位 須藤 玲子（新保三）
三位 大野 崇（小須戸中）
〃 高野文美代（蔵町三）

〈Cクラス〉
優勝 五十嵐 潤（小須戸中）
二位 古川忠美子（矢代田）
三位 古川 信幸（小須戸中）
〃 和泉 桂子（文京町二）

〈ダブルス・Aクラス〉
優勝 入倉・苅部組（バド協会）
二位 高野・長谷川組（バド協会）
三位 五十嵐・柳瀬組（バド協会）

〈Bクラス〉
優勝 中野・須藤組（バド協会）
二位 大渕・谷内田組（矢代田小教員）
三位 五十嵐・保科組（サークルあおぞら）

〈Cクラス〉
優勝 五十嵐・中村組（小須戸中）
二位 高野・和泉組（バド協会）
三位 高山・土田組（バトミントンレディース）

第一回硬式テニス大会

記念すべき初優勝は親子ペア

十一月五日、小須戸町スポーツ公園テニスコートで第一回硬式テニス大会が催され、ダブルスの熱い闘いが繰り広げられた記念すべき初優勝は吉田正信、正宏の親子ペア。次回も多勢の参加を期待したい。

〈男子ダブルス〉
優勝 吉田正信（矢代田三）組
〃 正宏（〃）組
二位 苅部和義（新潟市）組
高野浩和（横川浜）
三位 入倉芳男（本町五）組
伊藤 尚（中央町一）

〈女子ダブルス〉
優勝 和泉桂子（文京町二）組
渡辺いずみ（新津市）
二位 須藤信子（新保三）組
〃 玲子（〃）
三位 石本紀美枝（天ヶ沢）組
加藤ヒロ子（〃）

図書だより

桜の樹の下で　渡辺 淳一
東京駅で消えた　夏樹 静子
東京新大橋雨中図　杉本 章子
遠い国からの殺人者　笹倉 明
夜鴉おきん
　御宿かわせみ　平岩 弓枝
文学風景への旅（上・下）
　考古堂書店
詩城の旅びと　松本 清張
邪馬台国が見える　坪井 清足
明治という国家　司馬遼太郎
驚異の小宇宙・人体
　日本放送出版協会
わが息子よ君はどう生きるか
　竹内 均
他五冊

〈図書寄贈御礼〉
○加藤国一郎様（新潟市）
○斉藤湖畔人様（新津市）
○須藤 幸吉様（本町三）
○涌井 富雄様（中央町五）
ありがとうございました。

催し物ご案内

第六回文化講演会
「美しきふるさと新潟」
期日　十一月十九日（日）
　午後一時三十分より
会場　中央公民館三階ホール
講師　写真家・弓納持福夫（ゆみなもちふくお）先生

楽しく踊ろう
クリスマスダンスパーティー
楽しいひとときをみなさんと
期日　十二月十六日（土）
　午後七時より九時まで
会場　中央公民館三階ホール
会費　一人二千円
※参加申込みは中央公民館へ
尚、当日受付もやっています。
参加者に花の鉢をプレゼントいたします。
車はご遠慮下さい。
主催　社交ダンスクラブ

手をつなぐ親の会
クリスマス・もちつき大会
期日　十二月十七日（日）
　午前十時から午後二時まで
会場　小須戸小学校体育館
内容　もちつき・吹奏楽演奏
参加申込　各小・中学校にお問い合せ下さい。
なお当日受付も行います。
主催　手をつなぐ親の会

分館催し物ご案内

▲横水分館▼

健康教室
期日　十一月二十四日（金）
　午後一時三十分より
会場　水田集落センター
内容　「骨を丈夫にするには」
　役場　上田保健婦

分館球技大会
期日　十一月二十六日（日）
　午前九時より
会場　小須戸町民体育館
種目　卓球、バレーボール外

▲小須戸分館▼

婦人のつどい
毛筆を使った年賀状
期日　十一月十七日・二十四日
　（火）午後七時三十分
会場　中央公民館二階会議室
内容　毛筆を使った年賀状外
指導　山田政一先生

ふるさと散歩 (31)

写真は無限である

吉井 久好さん

東京写真研究会主催の写真展いわゆる「研展」は、日本で二番目に古い写真公募展である。今回で七十四回だから、大正時代から続いている事になる。応募点数も多く、全国から千三百点以上の参加がある。その中で順位で見れば二位にあたる「東研賞」を吉井久好さん（新保二四十才）が見事受賞された。

「まさか東研賞をもらえるとは思ってもいねかったね。」

研展入選は今年で六年目、入賞はもちろん初受賞である。

「カメラは中学の時に写真クラブに入ってね。それからね。」

写真を撮る時のシャッター音と、写真仲間との撮影旅行や付き合いが楽しいとの事。

「仕事が生きがいで趣味の無い人間はつまらんと思うけどね。」

同感である。

「写真を撮るなら、うーん、やっぱり冬が一番いいんじゃねえかな。雪景色がきれいだしね。」

写真を続けて二十数年。その中で今年は当たり年である。研展入賞、関東二科展入選、新潟二科展入賞と続く。但し、今までで本当に気に入った作品はわずか三点程度なのだそうだ。

所属する写真クラブは、今年新潟二科展に六人応募者全員入選の快挙をやってのけた。

「俺よりもそっちの方を」

取材中、十回くらい言った。よほどうれしいらしい。

「写真は無限である。」

大きな可能性を感じさせる言葉だ。

川柳会作品

題「見事」

見え透えた見事な嘘にだまされる　加藤米二
目元染め姿見事な菊人形　栗原ひさし
一徹な父の見事な握り寿司　我妻清作
ハイティーン見事な嘘つく電話口　長井武雄
横綱も今日は見事な負けっぷり　吉田源吾
お見事な退き際ですと御銭別　成田常信
どたん場に起死回生の逆転打　高橋ただし
こんど又見事外れた菊花賞　岡田良平
七色に何と見事な今朝の虹　松沢キヨ
セールスも見事に負かす買い上手　藤井春江
祝宴を見事に運ぶ名司会　小見キン
観客が手に汗握る立ち回り　駒村幸世
平均台見事にきめてハイポーズ　安達キヨノ
菊花展見事育てた大輪花　玉村タネ
その嘘を見事に暈す秘書の腕　渡辺信子
窓ぎわが見事に咲かす鉢の花　吉田みな

短歌クラブ作品

試合終え帰り来し子はかたくなに背な見せテレビの画面見ついる　村山文子
丘陵よりかがやき昇る陽に向ひ草狩にゆくペダルひた踏む　佐藤新治郎
みのり田に潜り込みたる一群の雀飛び立つおどし筒鳴り　牧野信雄
咲きつぎて終となりぬる泰山木は花をたたみて真綿つつめり　佐久間ヒサ
アマチュアの作品並ぶ文化祭プロをも凌ぐ力作の集い　吉田源吾

俳句同好会作品

背を向けしよりなつかしき秋桜　吉田素糸
捨て猫も膝にて灯下親しめり　中野太浪
秋空にさそひ出されて植木市　大野露春
氷旗ゆっくりゆれる秋の入り　斉藤可津朋
擂り胡麻の香が母屋より救を摺る　名古屋蒼宵
秋蝶の石段ごとにとまり居り　吉田ミナ
法師蟬会うて久しき老姉妹　佐久間久子
買収に残る土堤ぎわ花芒　小林富沙子
新らしき墓建つ寺や竹の春　関根のり生
結願の厄すて寺や竹の春　間島秀穂
退屈な火の見やぐらや鰯雲　丸山虚秋
秋の蠅しつこくまたも打ちもらす　五十嵐香月
路地多きむかし機町花木槿　田中美根子
秋の虹たつ不器用に洗車して　内山越楼
傘立てに傘の押し合ふ雨月かな　間野良遊

中央公民館俳句教室作品

肌寒や身を緊め今朝の万歩計　牧野信雄
山宿の朝より多ききのこ汁　松沢キヨ
手をつなぐ母と子の影小春道　山崎しず枝
葉を着けた柘榴を活けし茶道塾　渡辺信子
二葉三葉もみぢ浮かせて露天風呂　荒木愛子
朝寒や予報で移す植木鉢　村木リツ